

補正具助成などを実施します。

国民健康保険事業について

平成30年度から国民健康保険事業の財政運営は都道府県に移行されることとなります。「糖尿病重症化予防対策事業」に重点的に取り組み、医療費削減を図ります。

農林業関係について

平成30年度は農政改革元年となります。行政と農業団体及び農業者が一体となって、課題解決に向けた4つの取組みを進めます。

①農地の基盤整備と集積を推進し、効率的で足腰の強い経営体の育成を目指します。

②認定農業者や集落営農組織、農業生産法人の育成、青年や女性就農者の育成支援、シニア世代の農業参入の検討や農業後継者対策の充実を図ります。

③土地利用型作物では、大豆等の生産振興を図りつつ、複合経営の定着と通年型畑作物振興策を推進します。

④ジュンサイ、メロンや梅など地域の特産品を核とし、直売所などの施設を活用して農産物・農産加工品の販売促進や6次産業化を支援します。

林業振興は、森林保全育成の推進により、広葉樹林の再生を進めます。また、松くい虫対策を進め、景観維持、安全面などに支障をきたしている被害木の早期伐倒処理、沿岸等のマツ林の保全に努めます。近年被害が広がっているナラ枯れについても、早期伐倒に努めます。

商工観光振興について

雇用対策としては、「地域雇用創出推進事業」と「資格取得支援事業」を継続し、本町の産業振興および雇用拡大を目的とした「CSプラント施設（二酸化炭素の回収・貯留施設）」の誘致は、今後も実現に向けて努力します。

町内企業への金融支援を目的とした通称「マル三」、「マル三小口」および「マル経」に、新年度は創業時における融資斡旋制度を創設し、起業等による地域経済の活性化を図ります。

また、「プレミアム付商品券発行助成事業」は、新年度も実施します。

生産量日本一を誇るじゅんさいの生産、販売、普及を推進していくとともに、JGAPじゅんさいの加工・販売事業を支援し、販路拡大を図ります。

「サンドクラフト」「森岳温泉夏まつり」など、地域資源を活かしたイベントを継続開催し、交流人口の拡大に努め、台湾南投県との交流事業も進めます。

「ゆめろん」と「ゆうばる」については、町民の健康増進と交流人口拡大のための拠点施設として、施設のPRと利用促進を図ります。

建設事業関係について

住宅リフォーム助成事業については、今後も継続します。

町営住宅建築は、大町住宅、千刈田住宅の建替え工事が進んでおり、新年度も建替えを行います。

交通環境の整備は、各自治会からの要望事項に対応し、三種川改修整備は、『床上浸水対策特別緊急事業』の協力体制を維持します。国道7号大曲歩道整備事業では、用地関係者との契約、個別補償も進んでおり、進捗状況など住民説明会を開催します。

上下水道事業及び温泉事業について

水道事業については、良質な水源の確保・保全を行い、安全で安心な水道水の安定的供給に努めます。

す。

下水道事業は、公共下水道・農業集落排水への加入促進と合併処理浄化槽の設置促進を図り、より効率的な汚水処理施設の整備や管理、水質保全と生活環境の向上に努めます。

温泉事業は、森岳温泉施設改良事業計画をもとに、計画的な施設・設備の改修を図りながら、安定した供給と経営に努めます。

教育行政方針について

学校教育では、「生きる力を身に付けた、夢と笑顔のある子ども」の育成を基本方針に、「生きる力」を育む教育を推進します。そのために、各学校の応援団である「学校支援地域本部」を強化して、学校と家庭、地域住民、幼・保との連携など、地域全体が「教室」、地域の大人たちが「先生」、地域ぐるみで子どもたちの成長を支える「地域と共にある学校」づくりを進めます。

社会教育では、生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し、生涯の各時期に応じた多様な学習機会との場と情報の提供に努めます。また、幅広い世代の方々が、主体的な学習や社会活動が行えるよう、異世代交流事業の支援に努めます。